【実施区域・面積】

鹿児島県、　98ha

【生態系タイプ】

森林(人工林)

【実施区域の状況】

・本サイトは、桜島や重富干潟を望む姶良カルデラの崖上に位置するJTの社有林である

・森にはカルデラ壁を構成する急な崖や渓谷があり、森の中央には切り石を敷きつめた石畳がのこる旧街道「白銀坂」が通る

・2012年「霧島錦江湾国立公園」の公園区域に指定され、歴史を体感できる緑豊かな森として親しまれる場となるよう一般の方々にも開放

・クスノキを中心に、スダジイやタブノキなど様々な天然広葉樹が共存し、イノシシ、アナグマ等の哺乳類や鳥類など多様な生物も確認

・基本的な森林整備は鹿児島県森林組合連合会へ委託（主な整備内容は、歩道・見晴台の整備・管理、除伐、下刈など）

【目標】

社有林として維持していく上で、クスノキを主体とした広葉樹林の保全を行いつつ、自然と歴史に親しめる森づくりを目指し、白銀坂周辺の歩道や桜島を望める見晴台を中心に整備・管理を行う.

【主な活動内容】

①敷地内の維持保全に向けた定期点検、修繕工事の実施

（木柵工修復、倒木処理、老朽化した構造物修復等）

②従業員ボランティアの活動「森づくりの日」の実施（1年に1回）

アオキ刈り、樹名板設置、遊歩道整備等、環境教育も兼ねた森林保全作業内容を検討の上、実施

（2024年は10月12日実施予定）

③生態系維持に向けたモニタリング調査の実施（5年に1回）



【計画期間】

2025年9月～2030年8月

【実施区域・面積】

鹿児島県、　98ha

【生態系タイプ】

森林(人工林)

【モニタリング計画】

①生態系への影響リスクが高いとされるニホンジカやアライグマなどの哺乳類

②過去のフィールド調査で観測した希少種の植物

本サイト内の遊歩道

①センサーカメラによる定点調査

②対象区間を歩き状況を調査、撮影

①②共に、5年に1度を目安に実施

・具体的な調査の実施方法については、2019年に実施したフィールド調査を参考の上、外部機関への委託、自社イベントの活用等を通じて具体的な実施方法を検討、2025年内に確定予定

※参考：2019年時の調査委託先/対応者：株式会社エコロジーパス

【実施体制】

①鹿児島県森林組合連合会が中心となり維持保全活動の計画作成・実施

L 3カ年の活動計画を立て毎年見直しを図り、必要に応じ修正を行う

L 台風や大雨等の風害により倒木/破損した場合は都度期中追加要否も検討

②イベント運営はジェイティクリエイティブサービス株式会社へ委託の上、鹿児島県森林組合連合会と協業し、年1回実施

L 約3か月前から関係者と活動内容等の調整を開始

L 前回の振り返り、森林の状況等を考慮し毎年のプログラムを検討



【計画期間】

2025年9月～2030年8月